

〔平成21年度 伊勢市水道事業会計決算の概要〕

本年度の水道事業は、給水の安定及び有収率の向上を図り、効率的な維持管理を行うため、老朽配水本管の更新や増口径管への布設替工事のほか、配水本管の未整備地区への新規布設工事並びに施設の整備改良工事を実施するとともに、下水道工事などに伴う配水本管布設替工事等を実施しました。

また、中須水源内にある取水井の劣化及び地下水位の低下により、取水に支障をきたしているため、取水井更新工事を行いました。

1. 経営成績 (単位：千円)

収益的収入	2,853,877
収益的支出	2,291,219
当年度純利益	562,658
前年度繰越利益剰余金	0
当年度未処分利益剰余金	562,658

当年度未処分利益剰余金は資本的支出の財源として、減債積立金に29,000千円、建設改良積立金に533,658千円積立しました。

2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	22,640,596	負 債	968,679
固定資産	19,414,355	固定負債	531,967
流動資産	3,226,241	流動負債	436,712
		資 本 金	11,272,035
		自己資本金	5,788,418
		借入資本金	5,483,617
		剰 余 金	10,399,882
		資本剰余金	9,837,224
		利益剰余金	562,658
合 計	22,640,596	合 計	22,640,596

3. 業務量の概要

項 目		平成 21 年度	平成 20 年度	比 較	
				増・()減	比 率
上水道	給水戸数 戸	54,239	54,136	103	100.2%
	給水人口 人	132,996	133,850	854	99.4%
	配水量 A m ³ /年	17,833,846	18,023,028	189,182	99.0%
	有収水量 B m ³ /年	15,625,587	15,771,955	146,368	99.1%
	有収率 B/A %	87.6	87.5	0.1	-
簡易水道	給水戸数 戸	63	65	2	96.9%
	給水人口 人	101	107	6	94.4%
	配水量 C m ³ /年	10,689	11,416	727	93.6%
	有収水量 D m ³ /年	7,900	8,437	537	93.6%
	有収率 D/C %	73.9	73.9	0	-
計	給水戸数 戸	54,302	54,201	101	100.2%
	給水人口 人	133,097	133,957	860	99.4%
	配水量 E m ³ /年	17,844,535	18,034,444	189,909	98.9%
	有収水量 F m ³ /年	15,633,487	15,780,392	146,905	99.1%
	有収率 F/E %	87.6	87.5	0.1	-

4. 水道事業基本計画目標値の結果

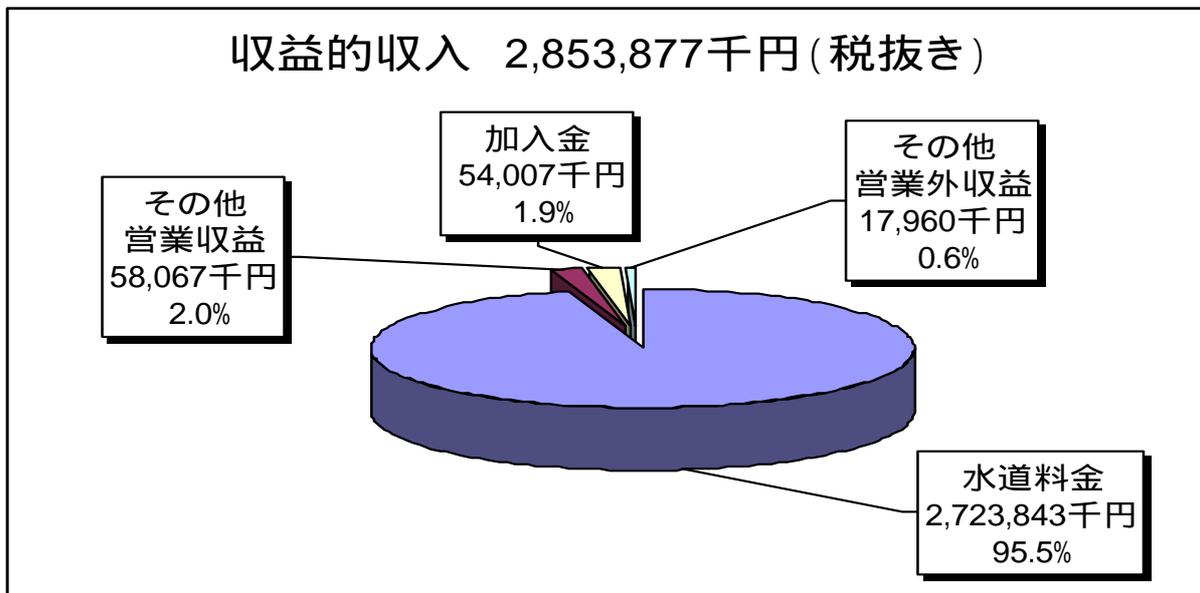
指 標 名	H21 実績	H20 実績	比 較		H25 目標	望ましい 方向
			増・()減	比 率		
水質検査箇所密度 箇所/100k m ²	8.7	7.6	1.1	114.5%	9.8	
塩素臭から見たおいしい水達成率 %	100	100	0	-	持続	
配水池耐震施設率 %	65.2	51.8	13.4	-	86.3	
管路の耐震化率 %	10.6	8.6	2.0	-	10.6	
管路の更新率 %	1.27	1.45	0.18	-	2.00	
車載用の給水タンク保有度 m ³ /1000人	0.101	0.093	0.008	108.6%	0.090	
有収率 %	87.6	87.5	0.1	-	88.0	
配水量 1 m ³ 当たり電力消費量 kwh/m ³	0.31	0.30	0.01	103.3%	0.30	

[水道事業の収支]

1. 収益的収支

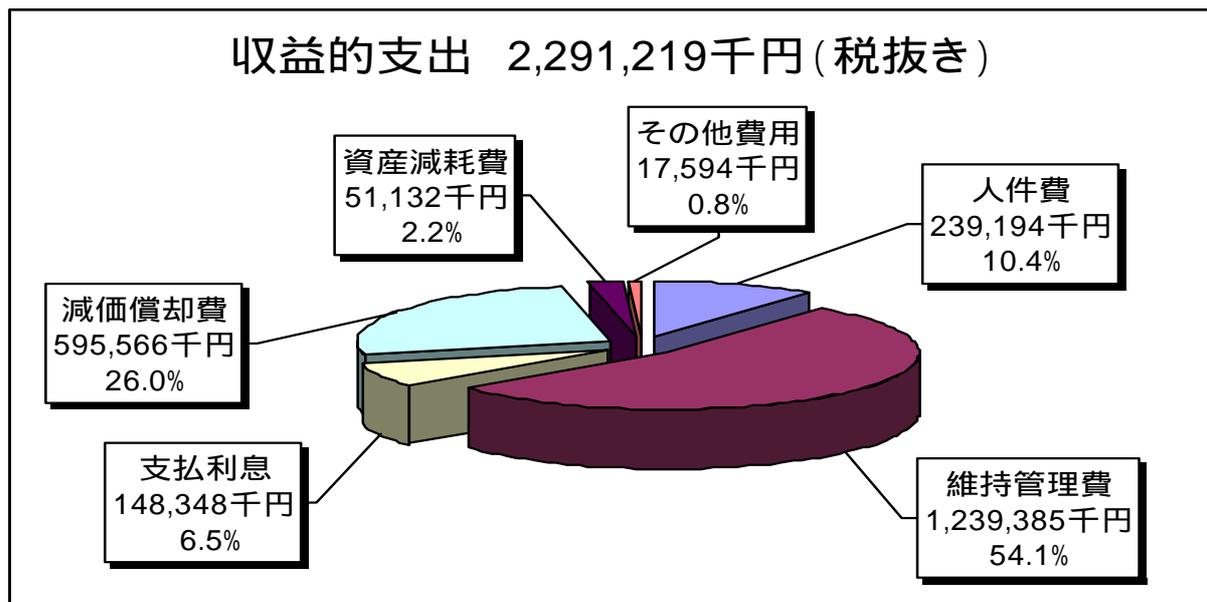
収益的収入

原水の取水や配水に係る施設の維持管理費等水道事業の経営に必要な経費 [収益的支出] の財源。利用者に負担いただく水道料金や加入金等で構成しています。



収益的支出

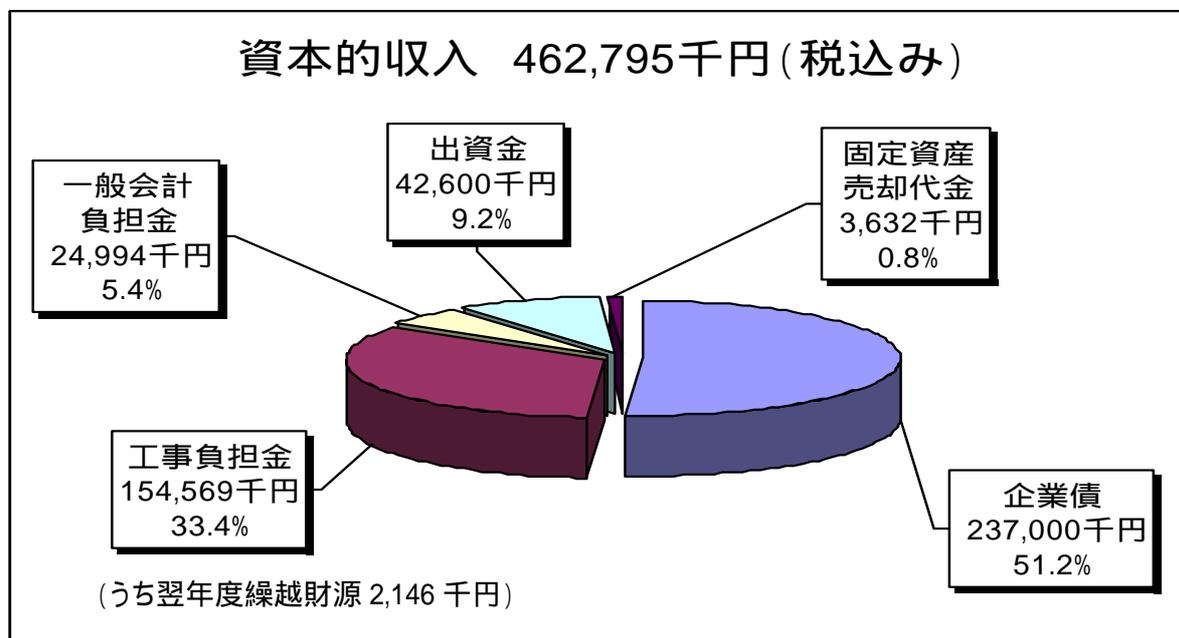
水道料金、加入金等 [収益的収入] を財源として、水道事業を経営していくために必要な維持的経費。原水の取水や配水に係る施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



2. 資本的収支

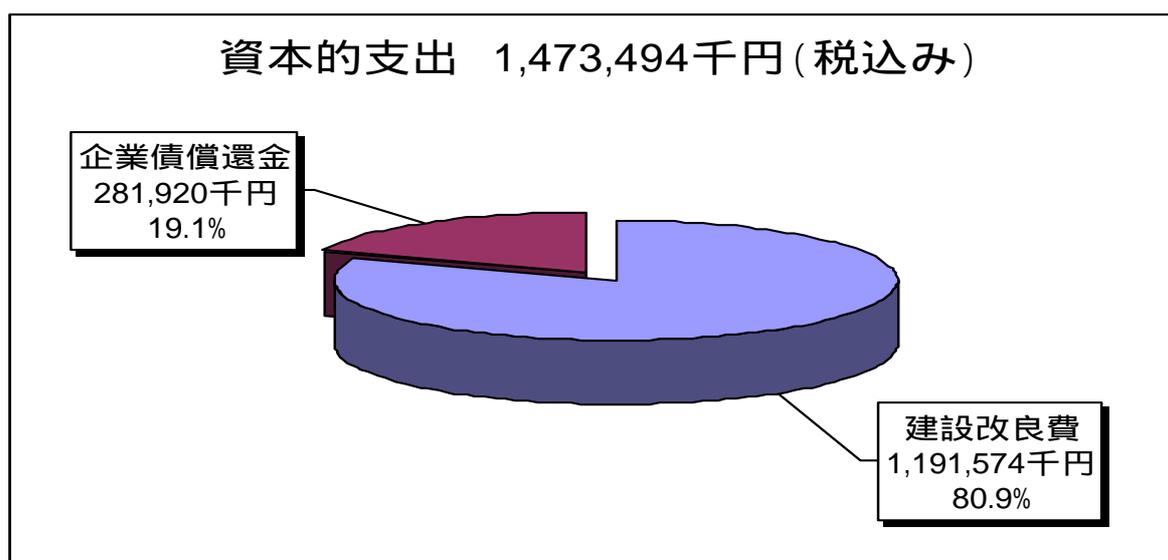
資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金〔資本的支出〕の財源。企業債、工事負担金、一般会計負担金及び出資金(一般会計)等で構成しています。



資本的支出

企業債や工事負担金等(資本的収入)を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金(借入金の返済)で構成しています。



資本的収入額(翌年度繰越財源 2,146 千円を除く。)が資本的支出額に不足する額 1,012,845 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 43,458 千円、繰越工事資金 168 千円、減債積立金 28,000 千円、建設改良積立金 580,569 千円、過年度分損益勘定留保資金 360,650 千円で補てんしました。